

時の流れに身をまかせ

札幌市医師会
草薙レディースクリニック

草薙 鉄也

札幌の創成川西側、最近では札幌創世1.1.1と呼ばれる地区、2階が医療モール、3階から11階までがオフィス、1階と12階以上はホテルが入るビルで、2001年4月にレディースクリニックを開業、18年の歳月が流れた。開業の動機は定年がなく、診療科の垣根を越えて医療を学べること、それを患者さんに役立て喜んでもらうことである。当初は南向きの明るい診察室や待合から、春には札幌で一番早く開花する見事な桜が楽しめ、テレビ塔と夜はそのイルミネーションが美しかった。しかし今は“さっぽろ創世スクエア”というコンサートホールなどが入る高さ131mの巨大な超高層複合施設ビルが立ち上がる。まさにビルの谷間と化した。幸いクリニック東側には夏は涼しげなライラックが見え、札幌ファクトリーや創成川を改修した「創成川公園」もでき、駅東のチョットうら寂しい感じはない。創成川の下を南北に走るアンダーパスが新設されて車の流れも良い。札幌駅周辺の都市開発計画は順調に進み、札幌は益々美しい北の都に変貌し続けている。

街並みだけでなく家族、親戚、お世話になった多くの人々も変わった。他界された方も多い。“生病老死”は誰も避けられない道とはいえ、知った人が減るのは寂しい。でも嬉しいこともある。妻が健康で、50年以上書道に打ち込み、北海道書道展で準大賞、函館書藝社展で大賞を頂いたこと。毎年恒例の1泊2日の道東へのドライブを一緒に楽しんでくれること。妻の両親はチョトボケかけているがまだ元気なこと。4人の子らは皆結婚、元気に繁殖して私を7人の孫のジージにしてくれたこと。孫たちは皆個性豊かで溢れんばかりの才能を感じさせ、ジージに夢を妄想させてくれること。ジージ自身も変わった。大学卒業後は既にでき上がった診療システム(札幌医大病院、留萌市立病院、函館五稜郭病院、札幌鉄道病院)の中で産婦人科医として一心不乱(ゴルフは別)に研鑽を積んだ。医師という立場で若い所為もあり、良くも悪くも“お山の大将”で、自己中心的医療と私生活を四半世紀過ごしていた。これを一変させたのは開業であった。まず開業資金調達で銀行や国民金融公庫と融資の交渉。医療機械購入や検査外注費用を業者と直接交渉。スタッフの面接・採用。すべて初もの。妻、義理の両親、税理士、社労士、薬局の方々の支えのお陰であった。一人では何もできず、周りの人たちの協力のありがたみを痛感した。開業を契機に心から人に感謝し、人の気持

ちや小さな物に思いを寄せること—そうありたいと思うようになった。

診療にも波乱があった。分娩は扱わず従来の婦人科診療の他に中高年の更年期医療、骨粗鬆症診療に力を入れ、漢方治療やホルモン補充療法(HRT)を治療の柱にした。しかし開業の翌年2002年にWHIの大規模試験でHRTによる乳癌、動脈血栓症の増加が報告され、これでマスメディアのネガティブキャンペーンが起こり、患者さんに不安が広がった。その後WHIデータのサブ解析やホルモン剤の投与方法・投与量の工夫、そして投与対象の選択により2016年HRTへの不安はほぼ払拭された。しかしこの長い14年間は患者さんの不安を少しでも和らげるため日産婦専門医や細胞診専門医の他に、新たに女性ヘルスケア認定医、骨粗鬆症学会認定医、MMG読影認定医や乳房超音波判定医など女性医療に携わる資格を取得した。50歳を過ぎてからの挑戦はチョト苦しかったが頑張った。団塊世代最後の昭和25年生まれ68歳、これからも資格維持は大変だが頑張るゾー。でも患者さんに“先生もお大事に、無理されないように、私より早く死なないで”と言われるとチョト萎れる。

凄く変わったのは天変地異。多過ぎる。平成30年9月6日午前3時8分M6.7、震度7の大地震は北海道胆振東部地震と命名された。札幌でM6弱は93年間札幌で暮らす義父も経験がないそうだ。大きな揺れから約15分後停電発生。苫東厚真火力発電所が停止、全道的にblack・outが起きた。幸い自宅はソーラー発電で蓄電した電力で不自由はなかった。しかし震源地の厚真町周辺地域では火山灰層の土砂が崩れて死者41名(ご冥福をお祈りします)、札幌市清田区では地盤の液化状態で住宅や道路が被害を受けた。また物流は停止、乳牛が乳房炎で死に農・酪・林業で1,500億円以上の損害、地震がなかった地域も含めた風評被害で観光業は270億円の損失。前日まで台風21号の影響で関西空港に8,000人以上の人が孤立し、ごく近いうちに南海トラフ巨大地震と津波の危険性が頻繁に報じられる昨今、自分の中では防災に対する意識は高まっていた。とは言えまさか札幌で震度6弱の地震が起きるとは思っていなかった。まさか“自分が認知症”と同類の話だろう。余震への不安を抱きつつ、防災の備えと近所付き合いを良くしておこうと心に誓う今日この頃である。